

しぜん がくしゅうかん だよ トキと自然の学習館 便り

がつ できごと
～4月の出来事～

れいわ ねん がつ
令和4年4月

VOL.54



できごと
出来事

①

たんじょう 誕生しました！



※羽にはアニマルマーカーペンで色付けしてしています。
巣に戻った時に個体を見分けるためです。

お腹がいっぱいになると、すぐにコテンと寝てしまいました。

センターでは、親鳥がヒナを上手に育てられない時は一時保護し、飼育員が親代わりとなります。数日間、育すう器で見守った後、親鳥の元へ戻されます。

巣の様子は、学習館の大型モニターでご覧いただけます。今はまだヒナが小さいために、巣に隠れてよく見えませんが、ヒナの成長は早く、ふ化から40日もすると、親鳥とほぼ同じ大きさになり、巣立ちを迎えます。ぜひ大勢の皆さんで、ヒナの成長を見守ってください。

4月17日、当センターで今年初めてとなる、トキのヒナが誕生しました。体重50.97g、元気いっぱいに鳴いています。飼育員がくちばしの脇に手を添え、ヒナ用のエサを入れた注射筒を、くちばしにもっていくと、ヒナは小さな足で体を頑張って支え、首を伸ばしてエサを欲しがります。ピーピーと鳴いて「もっとちょうだい！」と、催促しているようです。



たまご この卵はだれの？

できごと
出来事
②

4月の初旬、当施設付近で、ある生きもの
の卵を見つけました…！

写真のこの白い塊は『クロサンショウウオ』の卵のうです。
果物のアケビのような形をしているのが特徴です。

準絶滅危惧種に選定されているクロサンショウウオ、無事に産まれてきた幼生も見つけました。トキのヒナと同様に、成長していく姿を観察し続けたいと思います。

*クロサンショウウオは環境省作成の「レッドリスト」(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)に掲載されている、準絶滅危惧種です。
観察する時は自然の中でそっと見守りましょう。



クロサンショウウオの卵のう

白い膜の中に約40個の卵が入っています。
よく見てみるとうっすらと卵の影が見えます。



産まれました！
おお大きくなるのが楽しみです。



クロサンショウウオの幼生